

令和7年度 第4回瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和7年12月16日(火) 10時00分～11時00分

開催場所：瀬戸内市中央公民館 多目的ホール

出席委員：大東会長（ノートルダム清心女子大学 人間生活学部）

三浦副会長（瀬戸内市副市長）

平本委員【代理：新谷氏】（両備ホールディングス（株））

河田委員（牛窓タクシー）

尾崎委員（（有）ツルヤタクシー）

坂本委員【代理：重田氏】（（有）ネイチャーワールド自動車）

中尾委員（瀬戸内市老人クラブ連合会）

戸田委員（生活交通網をつくる会）

永田委員（瀬戸内市観光協会）

谷田委員（瀬戸内市PTA連合会）

栃折委員【代理：玉置氏】（西日本旅客鉄道(株)中国統括本部岡山支社）

宮地委員【代理：山田氏】（中国運輸局岡山運輸支局）

境野委員（岡山県県民生活部交通政策課）

出射委員（備前市市長公室交通政策課）

馬越委員【代理：中山氏】（瀬戸内警察署）

出席委員 15名

委任状提出委員 5名

事務局：総合政策部 平井（部長）

企画振興課 服部（課長）、寺本（主任）、鈴木（主事）

1. 開会

2. 会長あいさつ

- ・現在、第2次瀬戸内市地域公共交通計画の骨子案を作成中である。これは3000人の市民の方々にアンケートを取った結果と、それぞれ関係者へのヒアリングに基づいて得られたものである。
- ・市営バスの利用促進に向けた取り組みとして、牛窓-邑久駅線の延伸の計画が調整中である。
- ・虫明・長島愛生園線のワゴン車を使った増便についてもご意見をいただきたい。

3. 報告事項

協議事項1 「第2次瀬戸内市地域公共交通計画策定について」を事務局から説明

- (1) 計画書の構成と策定状況
- (2) 計画策定スケジュール(案)
- (3) 第2次瀬戸内市地域公共交通計画 骨子案の抜粋

【質疑・意見等】

- ・現在、土日を中心に中学校の部活動が地域クラブへ移行し始めており、中学校単位ではなく、複数校合同でのクラブ運営となることから、今後バス利用者の増加が想定される。これを踏まえ、バスの増便やルート改正等について、教育委員会との連携が取られているか。
→ 部活動の地域移行により、公共交通の利用時間帯や利用者数に変化が生じる可能性は認識している。公共交通担当としても、地域移行の状況や今後の動向について、関係部署間で情報共有を行う必要があると考えており、現在も庁内での情報共有を図っている。今後も動向を注視し、公共交通施策の検討に反映していく。あわせて、スクール便と公共交通の役割分担や調整についても、可能な範囲で連携を検討し、引き続き協力して対応していく。
- ・JR西日本岡山支社として、公共交通計画における様々な取組みの検討に感謝する。鉄道のみではなく、バスとの接続など複数の公共交通事業者との連携した取組みが重要と考えており、今後もしっかり取組んでいきたい。資料3ページの前計画の目標において、市営バスの数値目標は記載されているが、JR赤穂線の数値については公共交通利用者数の総数に含まれていると思われる。今回、赤穂線も含めて地域一体となって取組むため、KPI設定にあたっては、赤穂線の利用者数を具体的に設定し、関係者間で認識を共有して取組みたい。検討をお願いしたい。
→ 具体的な意見をいただき感謝する。JRとの接続改善や、コロナ禍で減便となった路線の

回復に期待している。KPI への赤穂線利用者数の設定について検討する。

- ・牛窓-邑久駅線の延伸に伴うルート変更について資料があるが、現行の西脇-邑久駅線はそのままの経路となるのか。

→西脇-邑久駅線については、今回ルート変更は計画していない。現在ワゴン車路線は6路線あるが、それぞれ距離と時間が限界のルートで設定されている。牛窓-邑久駅線の延伸については、他ルートに比べて距離と時間が短い現状があり、改善の余地があることから今回提案している。

→本件は次の議題で取り上げるため、そちらで詳細を説明する。

- ・JR 赤穂線の利用促進は市の大きな課題と認識している。赤穂線がスムーズに利用できれば、瀬戸内市から岡山市への通勤通学手段として機能し、利用者の増加が見込める。先ほど JR から KPI 設定の提案があったが、利用促進に向けた具体的な事業を加え、内容を分厚くすることを検討いただきたい。

→JR 赤穂線の利用促進については、新たに目標の題目として取り上げている。事業内容や施策については現在検討中であり、次回の交通会議で提示できる見込み。JR に関わる事業をより明確に見えやすく表示することについて、本日の意見を踏まえて検討していく。

- ・骨子案の PDCA サイクル実行イメージについて意見を述べたい。現在、自治体の事業年度である 4 月から 3 月のスケジュールが掲載されているが、瀬戸内市で運行している幹線系統補助金の幹線補助事業については、10 月始まり 9 月終わりで、事業評価を 1 月頃に実施するスケジュールとなっている。そちらのスケジュールについても掲載を検討いただきたい。

→全体的な流れとして提示したが、ご指摘の通り別のスケジュールで動く事業もあるため、そちらについても記載できるよう調整する。

- ・本日いただいた意見に加えて、今後も意見があれば事務局へ伝えていただきたい。それらの意見を反映させた上で、1 月末から 2 月初旬頃に再度会議を開催する予定。意見を反映した案を作成し、その内容をもってパブリックコメントを 2 月中に実施する。パブリックコメントを受けて、最終案として 3 月初旬頃に対面で会議を開催し、最終案の確認をしていただく予定である。

協議事項2 「牛窓-邑久駅線の延伸について」を事務局から説明

- (1) 事業概要
- (2) 現状の課題
- (3) 延伸による変化
- (4) 今後のスケジュール

【質疑・意見等】

- ・現在の西脇-邑久駅線は、西脇のビーチから鹿忍の峠を越えて牛窓町公民館鹿忍分館へ行き、そこから千手方面へ向かっていると思うが、西脇と鹿忍の間だけ二重運行になるのか。
→西脇-邑久駅線のルートについては変更がない。今回、牛窓-邑久駅線を牛窓町公民館鹿忍分館まで延伸する。西脇-邑久駅線もこの牛窓町公民館鹿忍分館を通るため、そこで接続ができる形となる。例えば、牛窓方面から来た利用者が牛窓町公民館鹿忍分館で西脇-邑久駅線に乗り換えて邑久方面へ向かうことが可能になる。二重に走るということではなく、乗り継ぎができるようになるという意味である。

協議事項3 「虫明・長島愛生園線の増便について」を事務局から説明

- (1) 事業概要
- (2) 現状の課題
- (3) 増便による変化
- (4) 今後のスケジュール

【質疑・意見等】

- ・現在4往復便の増便を検討いただいているが、この4往復便は確定ではなく、モニタリングのような形で進めていく想定か。今後ダイヤ設定などに変更があるのか。
→聞き取り調査はすでに実施しており、その結果を踏まえてダイヤをどのように組んでいくかを今後検討していく。4往復のダイヤ設定についてはこれから検討する段階である。
- ・4往復便体制をいつまで継続するかなど、アンケート等で目標を決めていく想定か。
→令和8年度に向けた計画であり、まず令和8年度に一度ダイヤを設定して運行を開始する。1年間全ての状況を見るというよりは、前半である程度の需要を把握し、今後については継続していく方針である。状況を見ながら、毎年実施している全体のダイヤ改正の中で、実際に運行してみた結果や様々な状況を踏まえて検討していく必要があると考えている。
- ・増便車両の仕様は定員8名とのことだが、増便することで利用者はある程度分散すると思われるが、積み残しが発生する可能性があるのではないか。また、積み残しが何度も続

く場合、例えばバスの大きさを変えるといったことは考えているか。

→現在も利用者の状況はある程度把握している。ダイヤ設定の際に、ワゴン車路線は定員が少ないため、どの路線にどの時間帯を設定するか検討する必要があると考えている。現在の乗客の分布、どの時間帯に利用者が多く、どの時間帯が空いているかなどを事業者と相談しながら、ダイヤをどこに設定するか検討する予定である。実際に運行してみて改善が必要であれば検討していく。市営バスの積み残しについては、基本的にタクシーによる代替輸送を考えている。

・虫明・長島愛生園線の利用が大きく伸びている理由や、こういった方の利用が伸びているのか教えていただきたい。

→地域に学校があり、通学時間帯に乗車される方が多い。また、長島への来訪者が多いことも把握している。学校関係については、授業のカリキュラムを調整していただき、できるだけ積み残しがないよう学校とも連携を行っている。今後もそういった調整は継続していく考えである。

協議事項4 「備前市営バス東鶴山線延伸に伴う合意について」を事務局から説明

【質疑・意見等】

・特になし

4. その他

- ・空飛ぶ車について（瀬戸内市観光協会永田委員から説明）
- ・瀬戸内市内の観光地にアクセスする観光バスを計画している。次回の会議でご報告させていただく予定である。
- ・西脇-邑久駅線の停留所の変更を検討している。詳細については今後の会議でご報告させていただく予定である。

5. 閉会

- ・地域公共交通計画の成案までに、引き続き皆様からご意見をいただきたい。
- ・バス、JR、タクシー、次世代の空飛ぶ車など、様々な交通手段を活用して、市民が使いやすく移動しやすいまちを作り上げていきたい。
- ・備前市のご協力により新たなバス路線も生まれた。感謝申し上げます。

以上